令和7年度東北地域デジタル化推進関係省庁等説明動画公開(令和8年度概算要求説明等)

- 東北地域のデジタル化·DX を推進する施策の説明 -

東経連ビジネスセンター デジタル化・DX支援事業 のご紹介

2025/11~ 説明資料

東経連ビジネスセンターとは

(一社)東北経済連合会が、地域内の産学官の支援機関及び金融機関に呼びかけ、設立した非営利の民間支援団体です。

- 中堅・中小企業への直接的なビジネス支援を通じて、地域経済の底上げに寄与する役割を担っています。
- 当センターでは、以下の3つの戦略項目に基づき、支援事業を展開しています。

東経連ビジネスセンター 事業内容

支援1 国際競争力の高い地域イノベーション拠点の形成強化

- ・ 次世代モビリティ産業集積支援事業
- マーケティング・セールス戦略支援事業
- スポンサー地銀連携推進支援事業
- マーケティング・セールスフォローアップ支援事業

支援2 産学官金・デジタル化による成長促進

- 新事業開発・アライアンス助成事業
- 産学官金サロン事業
- ・ デジタル化・DX支援事業 ※2021年度より追加

支援3 世界最先端研究開発プロジェクトの誘致による新産業創造

- ILC、放射光·加速器産業参入支援事業
- ものづくりフレンドリーバンク(MFB)推進事業



デジタル化·DX支援事業

デジタル化・DXの推進に向け、経営や業務の課題を共に考え、将来の方向性を検討し、アドバイスを行う伴走型支援を行います。



デジタル化コンサルティングの進め方

支援は「事前準備 → ヒアリング → ディスカッション → 提案」という流れで、コンサルティングを進めてまいります。

(事前準備) 企業情報の提供 (1回目訪問)

(2回目訪問) ディスカッション

(3回目訪問) 提案·情報提供

◆デジタル化コンサルティングの詳細

事前に企業様に「ヒアリングシート」をご記入いただきます。

内容は、相談内容・具体的課題、会社のビジョンや方向性、達成したい目標、社内システムの現状と目標などです。

1回目訪問: 経営者様の重視点や将来像を伺い、支援専門家が課題と目標を可視化します。

2回目訪問: 分析資料をもとにディスカッションを行います。

3回目訪問: 今後の事業プランのご提案を行います。

支援後の企業のDX推進事例

本支援終了後も、デジタル化・DXを進めている企業の一例をご紹介します。

業種	推進事例の内容
A社 (卸売業)	 基幹システムの刷新(導入済) 営業部の変革 補助システムの刷新・DXへの新たな取り組みチャレンジ AI導入の検討
B社 (機電・環境事業)	・ 情報管理システム構築プロジェクトの立ち上げ ※社内情報の整備を目的として、今年度の構築予定

支援企業の声(アンケート結果)

本支援終了時のアンケートでは、支援を受けて良かったと多くの 声を頂いています。

業種	支援企業の声
D社 (電気機械製造業)	 商談を前提としない支援であったため、自社の具体的な課題を率直に相談することができた。 今後は、自信を持って自社に適した取り組みを進めていけると感じている。
E社 (機電·環境事業)	 漠然とした課題認識はあったものの、何から着手すべきか分からない状態であった。 本支援を通じて、自社の課題を改めて明確に捉えることができた。
F社 (食品加工業)	・ 現状の整理から段階的な目標設定まで、丁寧に支援を受けることができた。・ 経営層と現場の運営チームの意思を一つにすることができ、大きな前進となった。
G社 (食品卸売業)	 一般論ではなく、自社の業務フローを丁寧に把握しようとする姿勢が印象的であった。 どのような質問にも丁寧に対応してもらい、安心して相談できる環境が整っていたと感じた。

支援事業のご紹介とお申込みについて

本支援事業について、自治体の皆さまにはご紹介を、企業の皆さまにはお申し込みをご検討いただけますと幸いです。

- デジタル化とDXへの道を開くために、私たちは企業様のパートナーとして伴走します。
- ●費用はかかりません。いつでもお気軽にお申し込みいただけます。

◆お申込先

東経連ビジネスセンター デジタル化・DX支援事業 https://www.tokeiren-bc.jp/menu2.html#menu2-04

◆お問い合わせ

東経連ビジネスセンター 担当:吉田 h-yoshida@tokeiren.or.jp



こちらのQRコードからも 簡単にお申し込みいただけます